

逃るゝ一法であります。蚊遣り、之れは昔から行はれた法で、松葉、杉葉、杜松等を薫べたのであります。就中最も効のあるのは除蟲菊の粉末を薫べるのであります、ある地方では蠶糞を乾かして薫べる所もあり、支那にては松或は杜松の鋸屑に少量の硫黄と砥石末とを混じ、之を薫るさうであります。根本的驅除 蚊を絶對的に少くするには蚊の生活の道を断たなければなりません。之れには子どもの生活する様な水溜りをなくするのであります、排水をよくし、溝をさらへ、雨水の溜る窪地を埋める等であり、是等の水溜りさへなかつたなら蚊は發生する事が出来ないのであります、高臺の地に蚊の少ないのは此爲めであり、又叢林には雨水が長く溜つて居る事がありますから、必要な草木は成る可く除く事が必要であります、又池が大きくて之を埋める事の出来ない様な場合には其中に魚類殊に金魚や鯉等を放飼するは宜い法であります、是等の魚類は中に池發育した子を食ひ盡す能を持つて居ります。

又溝梁の如きものには石油、バラフキン油等を注ぐのも子を殺す一方法であります、即ち油の薄い膜が水面に出来たから子が呼吸する事が出来なくなるのであります。其外自然界に蚊を取り食ふ動物即ち蚊の敵は、とんぼ、かげらふ、燕、よたか、あまがへる等であります。(婦人衛生雜誌)

## 西洋美貌法の今昔

A S 生

美貌とは何ぞや、一言を以てこの問題に答へるとはむづかしいので、人類の美貌の理想は、すべての時代、すべての國民によりて色々に異て居る、今日もやはりさうであります、美貌といふ觀念は又明人に於きましては、その發達の低度な國民に比して遙に高尚で且つ純潔であることは勿論であります。身體の美といふものは、その完全なる健康を外にしては、考ふることの出来ないものであるといふ

ことだけは確かなことでありまして、この點より見ますれば、元來美貌法は醫師の受持領分なので

あります。

吾々は種々の關係に於て、古人の生徒でありますから、その古代の美貌法と近世の美貌法とを比較して見るのも、敢て興味のないことでもなからうと思ひます。

今日とても左様であります、古代の化粧法は、殆ど全く女性の美貌法に限つたもので、男子は大抵ただ香物と毛髮薬を用ゐた位のことでありま

す、昔埃及の若い女共は、赤と白の顔料を用ゐ、髪に油をつけ、足と手の爪は「ヘンナ」を以て「オン

ンヂ」色に染め、睫毛は「メステ」と申して硫化安知母尼で染め、眼縁にもこれを塗り、髪は染方

を知て居りますし、息の香を好くする爲には乳香を嚼で居りました。

猶木人は、古の埃及人より此の化粧法を色々取用

ひて發達させましたが、しかし化粧法の眞の發明者また完全者は、古の希臘人と羅馬人でありまし

て、その處方の大部分は、今日もなほ用ゐられて居ります。

これは先づ主要なる一般法として、十分沐浴をす

る。沐浴して後に好い香のする揮發油を混ぜて油或は羊脂、今日の刺納林などを身體に塗り、白色と紅色の顔料、香薰用また汗止の粉も知られて居りました古羅馬人は、希臘より傳來した化粧法を

發達させたのであります。その肌膚を軟かに且つ滑かにして置く爲には、貴婦人は非常に務めて、また頗る不快な身嗜を致したものであります。乃ち晩には先づ牛乳と麪包屑

の高藥或はまた脂濃き蠶豆で搽へたものなどを顔に塗りつけ、朝になつて、水又は穀類と液藥の乳劑、或は驢馬の乳で以てこれを洗ひ落し、それから

顔と手と胸とは、羊脂を塗り込むのであります又手脂を去るのには、山毛櫨灰と山羊脂とで造た

石鹼を以て洗ひその上にまた牛乳を手に濯いでこれを乾かす。浴湯は「ヤスミン油で匂をつけ、

湯上りには、熟練した者に手と足の拵をさせ、爪を切つて硬皮を去る。その香の好い石鹼油類竝に

揮發油の香料の数は澤山ありますが、名高いのは「コスモス」でありまして「コスメチック」といふ名もこれから来たのであります。

また賓客に匂いのするものをつけるといふ習俗は今日の吾々には、餘程奇異に感ぜられるのであります。彼らのネロの宴會には、極上等の香水の霧を招待者の上に天井から降らしたといひ、トリマリキオの宴會では賓客に香油を灌ぎかけたといふことでもあります。

歯を磨くこと、歯石を除くこと、又缺けた歯に物を被せ或は繕ふことも知られて居りました。口の内には薔薇水或は泊夫藍で香をつけた水を用ひ、或は乳香、没薬を嚼んで居ります。又顔の皮膚の爲に應用された所の塗薬には、風化した曹達（アフロニトルム）或は「サルミアック」を用ひたのであります。

髪は、木或は象牙の櫛を以て梳げづてり油を塗り又毛髪に鏝をあてたり、縮らしたりすることに、頗る念を入れたものであります。髪に網を掛けることも既に應用されて居りました。染髪薬とし

ては、緑色の胡桃皮を應用し又錯酸鉛も用ゐられました。

鬘や髻には日耳曼毛が多く用ゐられまして、髪の色を抜くのに強い亞爾加里性の石鹼を使ひました。後にはブロンドの日耳曼毛が流行になりました。理髮師は、専門家として醜い顔の毛、腕、足の毛を除き、これに剃刀或は輕石を用ゐる。女はまた「コルセント」の代りに胸紐を用ゐて居るのであります。

羅馬の滅亡後には、化粧法もやゝすたりましたが中世期に至りて佛蘭西に於て更に發達致しました。尤も昔の化粧品は、大分忘れられて仕舞ふたのであります。又個人の家には於ける沐浴及び公眾浴場に於ける沐浴の習俗も、羅馬人と共に漸次忘却されてしまふたのであります。この沐浴は、また一部に教會側から禁せられたのであります。聖ヒロニムスは、幼時より一切沐浴をしなかつたと云ふやうな次第であります。それで十八世紀の後半期に至りまして、再び沐浴の良好なる影響が多少新に發見

されねばならなかつたといふ始末でありませんが、最初は只だ足だけの沐浴で、床屋が持て居る僅の盥を病人にのみ應用したのであります。それが段々また全身浴の認めらるゝやうになつたのであります。

十八世紀の末頃に染髮粉を塗るのは有害であるといふので棄てられ、千七百七十九年の英國議會でこれを禁ずることゝなりました。

當時已に獨逸の醫者は、最も効力ある唯一の化粧法として、千七百八十六年のワイマルで出したモデー新間で沐浴を勧めて居ります。

以上の如き有様でございましたが、かやうな習慣も忽ち變つて、ほゞ今日と同様に成てまゐりました。學術の進歩につれて、追々改良され、變化され、化粧法の大部分は、殆ど醫師或は齒醫者の仕事と成たのであります。

瘵せる法、或は肥る法は、雷に疾病状態を癒す爲に行はるゝのみならず、また化粧的の目的に應用され脊椎の彎曲及び骨の畸形は、不具療法的に處置せらるゝといふ譯で、兎に角完全なる健康なし

には、美貌といふことは考へられぬのであります。す。

そもゞ體形の美は。第一骨格に關し、次に筋肉の性状並びに脂肪組織の分配に關するものであります。まして、身體と四肢の各部分は、善く釣合を保つて居なければなりません。今こゝに一々美貌の特徴を擧げてお話することは困難であります。主としてその攝生法に就て述べて見やうと思ひます。

先づ美貌法に於て最も大切な方法と致しましては右より沐浴を採用致したもので、今日と雖も微温浴、又はこれに糠を混じて用ゐ、且つ全身按摩法を行ふことは、身體を若やかに保つ所の最良の方法なのであります。しかし既に若い時分より、この衛生法と同一である所の美貌的衛生的を始めなければなりません。そこで哺乳兒の榮養の全般に注意して、骨の彎曲を起さぬやうに、或は筋肉及び脂肪の發育に異常を來さざるやうに心を用ゐなければなりません。少女の健康發育は、しばしば締紐に由て障礙され、再び善くすることの出来ないやうに成ることがありまして、其の結果は高

度の蒼白症、腹筋及び背筋の弛緩、腸の障碍等であ  
ります。是を以て、醫師と教育家は、両親と相  
提携して、是等の不良状態を排除することに勉め  
なければなりません。

緩き着物、コルセットの禁止、新鮮なる空氣中に  
於ける盛なる運動、無刺戟性にして有力なる食餌  
體操及び遊技、テニス等は、最も良き發育不全の  
防遏法でありますが、身體を強固にすることに由  
て、その美は更に一段と進められます。この目的  
には、先づ冷水摩擦、光浴、空氣浴及び日光浴、

治療的體操法及び各種の遊技を用うるのでありま  
す。  
有害なる過度の脂肪沈着を除く爲めには上に述べ  
ました體操法の外に、新陳代謝を盛にし、且つあ  
らゆる種類の病的産物を排除すべき能力ある電光  
浴を以て卓逸なる方法と致しますが、この電光浴

に於きましては、身體を日光の如く照らして、皮  
膚機能は旺に興奮せられ、あらゆる病的産物は、  
汗に由て尿酸の排出さる、如く排除されて、全體  
の臓器は強められ且つ新に生氣を帶ぶるものであ

ります。これと同じ理想的の瘼せる法たる光浴  
の後には、これに次で微温浴中に於ける冷却、安  
法及び按摩法を行ひます、要するに根本的化粧  
法は、嚴密なる醫師の検査と、理學的榮養法的嚴  
則に従て指導さるゝ所の一般處置を俟て、初め

て其の効果を收めらるべきものであります。  
皮膚の養生には、シユライヒ教授のバスター及び  
石鹼が頗る推選するに足るもので、これには委し  
い使用法も添へてあります。凡ての美顏水、染髮  
藥、臘脂類、口腔藥等を今こゝに擧げるとは省

きますが是等は殆ど古の希臘及び羅馬時代に於  
けるものと同様で、たゞ化學的智の進歩に由て種  
々に改良されて居るまで、あります。  
古代に對して化粧法の進歩したといふ點は、美の  
缺陷は、往々たい身體に於ける疾病の徴候である

といふことの智識に由て表はれて居るのでありま  
す。この昔人の知らなかつた智識に由て、現代の  
化粧法は學問の範圍に高められた譯であります。  
かくて最早改良の餘地もないかの如く見えませ  
まだく色々の事が出來ます。私は今一つ擧げ

て見やうと思ひますのは、鐵光輝照による禿頭の療法であります。これは醫者に依て實施され、學術的に試験されて、多くの場合に有効であることを説明されたものでありまして、盛に所々の商會などで發明された、所謂毛生藥なども排斥される次第であります。何故とならばこれは、其の最も有効な場合でも、たゞ頭の皮の養生、その興奮位の役にしか立たないからであります。凡て是等の藥劑の多數は、その無効なことを證明されましたが、何れの範圍に於きましても、化粧法のやうに祕密藥消費の盛なものはないのであります。

### 玩具研究部配布玩具

本月は三才以上の方へは男女を問はず本會員高市次郎氏の新案に成れる空中飛行器を配布することに致しました。歐米でも空中飛行器は玩具界の流行となつて居る際で、従つて子供迄が空中飛行器に熱中して居る様子ですが、流石東洋の孤島にかけ離れて居る丈、我國は近日漸く研究會が陸海軍中に設けられた位です。併し列強の間に頭角を

顯はそうと云ふには空中飛行器問題は是非とも研究を要する問題です、然るに本玩具は是等の必要を暗示するには屈強な觀察用玩具と思ひますので本月は之を配布することに致しました。使用法は成る可く廣き部屋の真中頃に天井より吊る下げてそしてゼンマイを充分にかけて離すとほんもの、飛行船の通りに部屋中を飛んで回ります。定價金 拾錢で本賛助員諸家へは原價で差上ることと致しましたが尙參錢許り不足になります。是は來月分で補ふことに致しました。

### 新案玩具の紹介

定價  
小 犬 金四拾錢  
ハモニカ 金拾五錢

フレーバル館主 高 市次郎